



2020年12月1日

**2020年度東京都女子アイスホッケーリーグ戦兼
第40回全日本女子アイスホッケー選手権Cグループ東京都予選
競技要項**

公益財団法人東京都アイスホッケー連盟
女子委員会

1 競技方法・競技時間

- 1回戦総当たりのリーグ戦で行う。
- 全試合正味15分(ストップタイム)×3ピリオドで行う。
- 練習・インターミッションは各5分とする。
(整氷→練習→P1→インターミッション→P2→インターミッション→P3)。
- 10点差以上の得点差がついた時点で、次のフェイスオフ以降、ランニングタイムとする。
 - 1) 差が縮まった場合でも継続する。
 - 2) 次の場合は時計を止めるものとする。
 - a) 得点時一旦止めるが、レフェリーがオフィシャルに報告にきた時点で、直ちにスタートする。
 - b) 反則発生時一旦止める。次のフェイスオフでスタートさせる。
 - c) 選手が負傷し交代に時間を要する場合やチームからの質問などで時間を要する場合などレフェリーの指示で時計を止める。次のフェイスオフでスタートさせる。
 - 3) 反則時間終了時にプレーが止まっていたら、その選手は次のフェイスオフでパックがドロップされるまでペナルティベンチから出られない。
- 1試合につき、両チームそれぞれ1回のタイムアウト(30秒)を取ることができる。
- リンク貸切り終了時間の2分前で、打ち切りとする。

2 順位決定

2.1 順位決定方法

勝ち点制とする。

勝ちを3点、引き分けを1点、負けを0点とし、勝ち点の多いチームを上位とする。

勝ち点と同じときは、以下1)～8)の条件順で順位を決定する。

- 1) 勝ち数の多い順
- 2) 当該チームの対戦成績
- 3) 当該チーム同士(3チーム以上)の試合で得失点差の大なるもの
- 4) 当該チーム同士の総得点÷総失点の商の大なるもの
- 5) 全試合の得失点差の大なるもの

- 6) 全試合の総得点÷総失点の商の大なるもの
 - 7) 全試合のペナルティータイム(分)の小なるもの
 - 8) 昨年度の大会において順位が上位であるもの
- 試合および大会が中止(延期できない)、途中打ち切りになった場合は、順位をつけない。
ただし、第40回全日本女子アイスホッケー選手権 C グループ東京都予選については、2.2 項によって順位付けする。

2.2 第40回全日本女子アイスホッケー選手権 C グループ東京都予選の代表選考

本リーグ戦は、第40回全日本女子アイスホッケー選手権 C グループ東京都予選を兼ねる。同予選へ出場意向を示したチーム間の対戦成績に基づき、上位チームに東京都代表として同選手権 C グループ関東ブロック予選会への出場権を与える。順位付けは、東京都予選参加チーム間で、2.1 項の順位決定方法に基づき決定する。

(同選手権 A、B グループへの出場が決定しているチームとの対戦成績は関係しない)。

試合および大会が中止、打ち切りとなった場合：

- 1) 政府・地方自治体、スポーツ管轄団体[スポーツ庁、JOC、日本アイスホッケー連盟等]の方針・発令・勧告、社会情勢、施設(リンク)の判断、および東京都アイスホッケー連盟における判断により、試合および大会が中止または途中打ち切りとなる可能性がある。その場合、2019 年度東京都女子アイスホッケーリーグ戦の上位チームを東京都代表とする[2.1 項、(8)を適用]。
- 2) チームが東京都予選を兼ねる試合を棄権した時点で、当該チームは東京都代表選考の対象から除外する。その他の東京都予選参加チーム間の対戦成績により、東京都代表を決定する。

3 競技規則

公益財団法人東京都アイスホッケー連盟の定める補助規則(第4項)を除いて、原則として国際競技規則、および、公益財団法人日本アイスホッケー連盟が定める規則によるものとする。

4 補助規則

- 1) 試合を棄権するチームは、試合開始日前日の 17 時まで、その理由を 1)女子委員会に連絡し、2)連盟まで文書で届け出なければならない。
試合を棄権した場合、0 対 15 で不戦敗とし、別に定める罰則規定により罰則を科す。
ただし、新型コロナウイルスによる試合棄権の場合は、0 対 15 で不戦敗とし、罰則は科さない。
- 2) 連盟未登録選手が出場した場合、当該試合は没収試合とし、不戦敗とする。
- 3) オールメンバー表は、試合開始 30 分前までにオフィシャルに 2 部提出する。
- 4) オールメンバー表に記載されていない選手は試合に出場できない。発覚次第、退場とする。
当該選手がポイント(ゴール・アシスト)をあげても無効とする。
当該選手がペナルティをおかした場合は、代替選手がそのペナルティを受けるものとし、

当該選手は退場とする。背番号の間違ひは発見次第、直ちに修正すること。ポイントは認められ、出場可能とする。

- 5) 試合実施に必要な最低人数は6名(ゴールテンダー1名とスケーター5名)とする。試合開始時まで最低人数に満たない場合、当該チームは試合を棄権したものとみなし、不戦敗とする(棄権については4-1を参照)。

両チームが人数に満たない場合は、両チームとも-15点とし、両チームが不戦敗とする。

- 6) オールメンバー表に記載されていないスタッフはベンチ入りできない。
- 7) ベンチ入りは選手・スタッフ(監督・コーチ等)を含めて最大25名までとする。ゴールテンダーは2名以内、スタッフは6名以内(最低1名)とする。
- 8) 選手は、統一したユニフォームとストッキングを着用し、ヘルメットとパンツは同色を着用しなければならない。
- 9) プレーヤーは、顔全面を覆うフルフェイスマスクの付いたヘルメット、ネックガード、マウスガードを着用しなければならない。
ヘルメットは、付帯のパーツを正しい位置に装着しなければならない。顎紐と顎の間のゆとりは、指1本分のみとする。
- 10) ゴールテンダーは、ネックガード、および、パックおよびスティックが貫通しないマスクを着用しなければならない。
- 11) ユニフォームはパンツから出して着用する。
- 12) 原則として、頭髪はヘルメットの中に収める。
- 13) 選手の怪我防止のため、選手の用具やユニフォームが正しく着用されているかを確認するため、下記の手順を取る。
- 試合開始前の整列時、正しく着用していない選手に対しては、直ちに改善することを指示し、チームに警告を与える。
 - 試合開始後、正しく着用していない選手に対しては、ミスコンダクト・ペナルティを科す。これはレフェリーの判断によりペナルティを科すもので、チームからのアピールは受け付けない。

- 14) 危険防止のため、ベンチ入りする選手は試合中、フルフェイスマスクの付いたヘルメットを着用する。

- 15) ホーム・ビジター制度を適用する。ホームチームは、昨年の大会の上位チーム(対戦表の左側)とし、本部席から向かって左側のベンチに入る。

- 16) ペナルティベンチ内ではヘルメットを着用し、出場30秒前まではベンチに座っていること。

- 17) オフィシャル当番チームは、9名で担当する。(ゴールジャッジ2名、ペナルティアテンダント2名、タイマー2名、電光掲示板1名、記録1名、アナウンサー1名)。試合開始30分前に集合し、準備を行う。

当番を代行してもらうことは極力避ける。やむを得ず代理を立てる場合は、試合開始日前日の17時まで、代理の人員(チーム)とその理由を1)女子委員会に連絡し、2)連盟まで文書にて届ける。

当番に遅刻・欠席、欠員した場合は、別に定める罰則規定により罰則を科す。

- 18) 試合には、当連盟レフェリー委員会より、レフェリー1名、ラインズマン2名を派遣する。

＜コロナウイルス対応＞

- 19) 試合時のツバ吐き行為は、いかなる理由があってもゲームミスコンダクト・ペナルティを科す。一旦口に入れた水等を吐き出す行為もツバを吐く行為と同様にみなす。
- 20) パックスは、ソーシャルディスタンスを保ち行う。
- 21) 試合時の握手は禁止する(選手、スタッフ、レフェリー、競技役員)。
- 22) ベンチ内において、スタッフは、飛沫飛散防止のためのマスクを着用する。
- 23) ドリンクボトル、タオルは共有しない。
- 24) ペナルティボックス内の選手は、相手チームの得点時、自らドアを開けて出ていく。
- 25) 試合中、ベンチ内の選手は、交代選手以外は座っている。
- 26) 試合中断時、パックに触れない。ゴールテンダーはキャッチしたらリンク上に置く。
- 27) オフィシャル担当チームは、オフィシャルメンバー表を2部提出する。

5 罰則規定

試合、オフィシャル当番に遅刻、欠席、欠員、棄権した場合や、連盟の規約違反をした場合は、罰金から無期限試合出場停止までの罰則を科す。

6 保険の加入

大会参加チームは必ずスポーツ傷害保険等に加入しておく。(保険証書の PDF を提出する。大会要項 12 項を参照)。

選手・スタッフ等の移動を含む本大会に係る事故、負傷、盗難等について、本連盟は責任を負わないので、各チームが責任を持って予め対処する。

7 試合中の負傷・傷害

試合中に選手が負傷した場合、応急処置は行うが、その後は各チームおよび個人の責任とする。

選手の負傷について、チームは文書で公益財団法人東京都アイスホッケー連盟に届ける。

8 コロナウイルス対応の特別ルール

- 1) 選手、スタッフ、オフィシャルは試合 2 週間前より、別に定める「検温・問診チェック表」に体温、体調および簡単な外出メモを記録する。
- 2) 近親者・勤務先等に感染者が出て濃厚接触者となった場合は、その旨をチーム代表者より E-mail にて連絡し、2 週間活動を自粛する。(宛先: 女子委員会委員長、副委員長)
- 3) 施設関連:
 - 施設に入る際は、手指消毒を実施し検温を受ける。
 - 施設内において、氷上・ベンチ内以外は常にマスクを着用すること(雨天時の室内アップにおいても着用する)。
 - 控室は使用できない。着替えおよびミーティングは、リンクサイドの指定エリアで行う。指定エリア(着替え場所・トイレ・アップ場所)以外への立ち入り禁止。
 - 試合終了後、ベンチ内清掃(アルコール消毒)を行う。(連盟役員の指示に従って実施する)

- 施設内において、選手の水分補給以外は基本的に飲食禁止。
- ゴミはチーム各位で必ず持ち帰る。試合後、ベンチ内や着替えエリアにゴミ(ドリンクのボトルや使用済みのティッシュ等)を放置しない。忘れ物がないか確認する。(施設内にゴミ箱はありません)

*** 新型コロナ対策等の社会情勢により大会期間中であっても内容変更の場合があることをご承知おきください。**